

米国の教育論に学ぶ

松本秀峰 講演会に160人

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校は3日、同校で、学校教育の専門家、ジョシユア

・フリードマンさんの講演会を開いた。保護者や学校職員ら約160人が、教育者の指導に当たる米国のNPO法人・シックスセカンズ最高執行責任者を務めるフリードマンさんの教育論に耳を傾けた。

フリードマンさんはグラフや写真を用い、通訳を介して「感情を言葉にして話す」と、感情の高まりを抑えられる」などと述べた。気持ちの高まりを、腕を広げて表現して参加者に語りかけ、「子育ての時間は瞬く間に過ぎ、新鮮だつて、信頼感や人間関係をうまく築けるようにするの大切」などと訴えた。長女が学校に

通う倉石貴子さんは「感情のコントロールについての話などを初めて聞き、新鮮だった。世界観が広がった」と話していた。

学校が生徒の感受性やチャレンジ精神を育む目的で推進する『こころの知性』教育の一環で開いた。

講演するフリードマンさん(左)と交えて手ぶりを身ぶりを交えて講演するフリードマンさん(左)

女が学校に

(斉藤太一)

